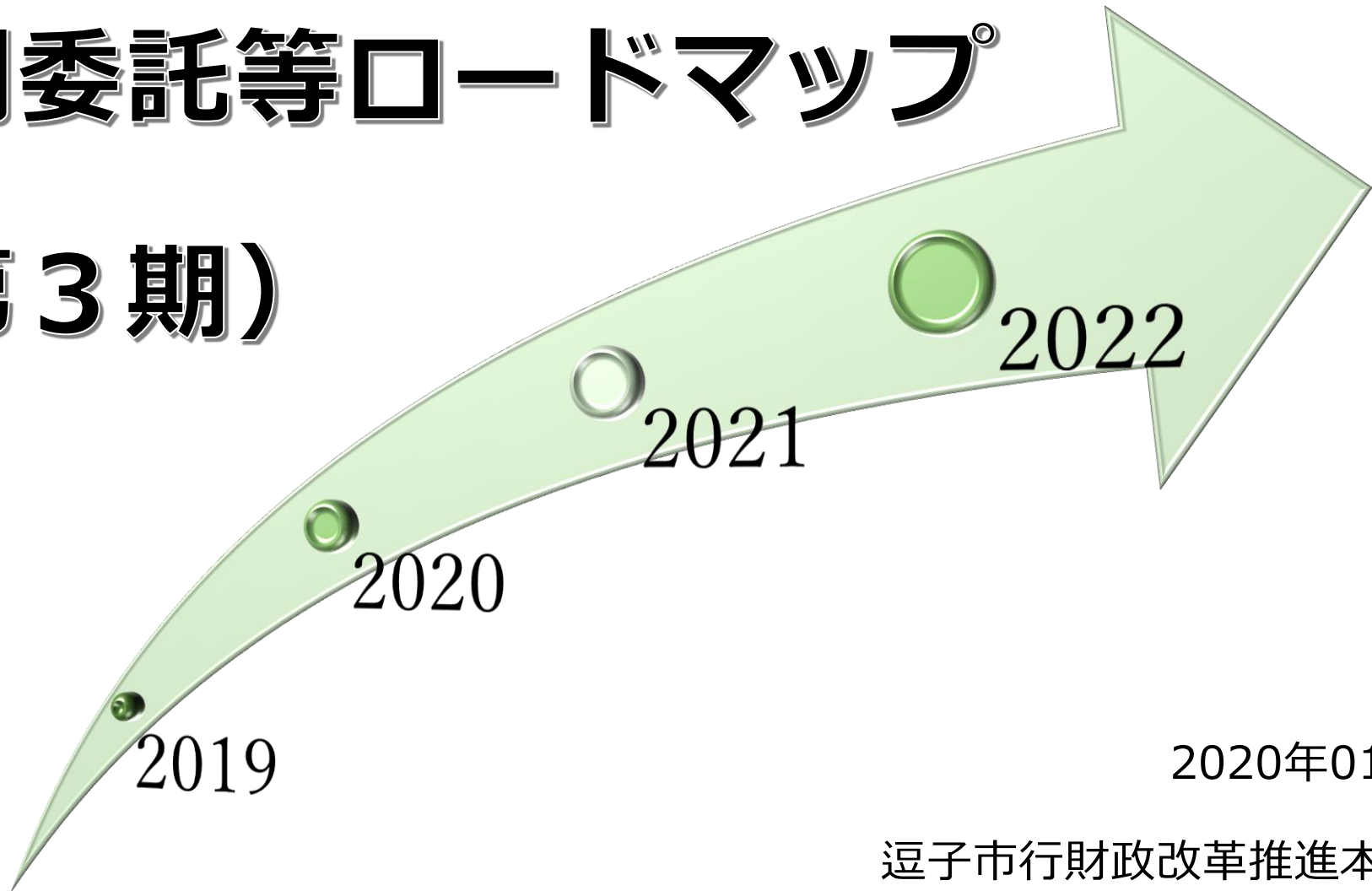


民間委託等ロードマップ[○]

(第3期)



2020年01月

逗子市行財政改革推進本部

【改訂履歴】 2020 年 10 月 一部改定

2022 年 3 月 一部改定

民間委託等ロードマップ（第3期）作成に当たって

1 はじめに

逗子市行財政改革基本方針（令和元年度～令和4年度）において、行政力の向上及び市民サービス向上の双方の観点から、民間委託等の推進等に取り組むことにより、業務の合理化・効率化を進め、行政運営の改革を積極的に推進することを掲げているところです。

この民間委託等ロードマップは、その具現化を図るに当たり、行程等について逗子市行財政改革推進本部における議論及び担当所管での調整・検討を経て作成したものです。

2 ロードマップ作成対象

今回、次の業務及び施設について、現状の分析、委託化等への手法及び行程、コスト比較並びに課題について整理しました。

- (1) 環境クリーンセンターの現業業務委託（環境クリーンセンター）
- (2) 小学校給食調理業務委託（学校教育課）
- (3) 体験学習施設指定管理（子育て支援課）
- (4) 公立保育園調理業務委託（保育課）
- (5) 公立保育園 民営化（保育課）

3 作成上の留意点

- (1) 作成対象期間

令和元年度から令和4年度までの4年間とします。

- (2) 前提条件

一般職給料表(2)が適用される職員（技能労務職員）については、退職者不補充とします。

(3) コスト比較

- ア 現状（人件費等）については、平成 30 年度決算ベースとした次の単価を基に適正な人員配置で積算することとし、現場職員だけでなく、その労務管理者についても、現場管理費に相当するものとして、コスト比較に含んで積算しています。（例：環境クリーンセンター収集・処理業務…現状の人件費算出対象である現場職員を監督する事務管理職員の人件費についても、管理監督するために要した割合で按分して計上）
- イ 退職者不補充等による会計年度任用職員等人員配置で現状比較により効果額が認められない場合に限り、仮想人件費で比較を行い、効果を検証するものとする。

- ウ 仮想人件費は、現状（人件費等）における人員の総勤務時間数から換算した常勤職員配置をイメージした人件費をベースとしたコスト比較を検証するものとする。

【直営の場合と民営の場合のコスト比較例】

（Ａ）・（Ｃ）欄：人件費＋事業費

（Ｂ）欄：委託費＋市経費（人件費＋事業費）

(4) コスト比較以外のメリットについて

「中長期的に見た効率、効果等」欄にコスト比較では評価できない民間委託等により期待できるメリット等を記入します。

* コスト比較により十分効果を示せる場合は、未記入とします。

【職員給与費積算】

給料表	(1)	8,030千円/年
	(2)	8,840千円/年
再任用	週5日	4,721千円/年
	週4日	3,528千円/年
	週3日	2,681千円/年
	週2日	1,533千円/年
任期付職員	週4日	3,316千円/年
	週3日	2,358千円/年
会計年度任用職員	週4日	2,389千円/年
	週3日	1,821千円/年
	週2日	870千円/年

【退職手当相当額積算】

給料表	(1)	23,200千円
給料表	(2) 技術職員	17,700千円
"	業務職員	15,900千円
"	給食調理員	15,900千円

※人件費積算に当たっては、必要に応じて按分等行うものとする。

【改訂履歴】

2020年10月

「職員給与費積算」中、非常勤事務嘱託員平均給与を会計年度任用職員平均給与に改訂し、再計算を行った。

2022年3月

「2 ロードマップ作成対象」中、高齢者センター指定管理を対象から削除し、公立保育園 民営化を対象に追加した。併せて該当の帳票の削除及び追加を行った。その他、ロードマップの時点修正を行った。

民間委託等ロードマップ【第3期】

対象業務等	逗子市体験学習施設		部・課かい名	教育部子育て支援課
現 状	体験学習施設の管理運営については、市直営で実施している。職員の体制としては、施設長、正職員2名、専門指導員、非常勤職員6名が配置されている。体験学習施設のうち、プレイルーム、乳幼児用プレイルーム及びカフェの運営については、社会福祉協議会に業務委託をしている。 (令和3年度職員配置 施設長を含む正職員2名、専門指導員1名、週3会計年度任用職員5人、週2会計年度任用職員1名)			
手 法	☒ 民間委託 ☒ 指定管理 ☐ 民営化			
行 程	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	・親子スペース及びカフェを社会福祉協議会に業務委託(19,381千円) ・指定管理者制度導入に関する検討 ・社会福祉協議会との調整	・指定管理者の選定(選定に至らず) ・プレイルーム、乳幼児用プレイルーム及びカフェの運営を社会福祉協議会に業務委託 ・体験学習施設講座等事業の一部を社会福祉協議会に業務委託	・指定管理者制度導入に関する検討(社会福祉協議会は指定管理者を受託する意向なしを確認) ・新たな民間事業者との調整 ・施設運営の改善の方向性の検討 ・指定管理者制度導入に関する検討は中止.	・子育て、教育、福祉等の分野が連携し、より有効で、より魅力的な施設となるよう、施設の利用方法や管理の手法を検討

	(A) 現状 (人件費等)			(B) 委託・指定管理 (委託料等) * 概算見積等	
	人件費計	30,050千円	その他経費	38,850千円	(B) 計 92,000千円
コスト比較	給料表 (1) 1.5人	12,045千円	【関連事業費】		
	給料表 (2) 0人	0千円	・ 体験学習施設維持管理事業 34,853千円		
	再任用 週5日 0人	0千円	・ 体験学習施設講座等事業 923千円		
	再任用 週4日 0人	0千円	・ 体験学習施設事務費 3,074千円		
	再任用 週3日 0人	0千円	【人件費参考】		
	再任用 週2日 0人	0千円	(・ 専門指導員 : 2,400千円×1人=2,400千円)		
			(・ 親子スペース等人件費 12,600千円)		
(B) - (A) 23,100千円	任期付 週4日 0人	0千円	【関連事業費】 小計 70,238千円 ・ 体験学習施設維持管理事業 52,192千円 ・ 体験学習施設講座等事業 895千円 ・ 体験学習施設事務費 3,340千円 ・ 本部経費+利益 13,811千円 【人件費】 小計 21,762千円 ・ 施設長 (週5正社員) 3,600千円×1人 ・ 職員 (週5正社員) 3,000千円×1人 ・ 職員 (週3アルバイト) 1,383千円×5人=6,912千円 ・ 職員 (週2アルバイト) 922千円×1人 ・ 専門指導員 (週4アルバイト) : 1,843千円×1人 ・ 賞与1,100千円 ・ 福利厚生費 99千円 ・ 社会保険 2,606千円 ・ 通勤交通費 1,680千円		
	任期付 週3日 0人	0千円			
	会計年度任用 週4日 0人	0千円			
	会計年度任用 週3日 5人	9,105千円			
	会計年度任用 週2日 1人	870千円			
	施設長 週5日 1人	8,030千円			
(B) - (C) 5,773千円			(A) 計	68,900千円	
	(C) 仮想人件費 (勤務時間換算)				
	人件費計	47,377千円	(C) 計	86,227千円	
	給料表 (1) 5.9人	47,377千円	給料表 (2) 0.0人	0千円	
	その他経費	38,850千円			
	【関連事業費】				
	・ 体験学習施設維持管理事業 34,853千円				
	・ 体験学習施設事務費 3,074千円				
	【人件費参考】				
	(・ 専門指導員 : 2,400千円×1人=2,400千円)				
	(・ 親子スペース等人件費 12,600千円)				
中長期的に見た 効率、効果等	子育て、教育、福祉等の分野が連携し施設を有効活用することにより、多世代間の交流の場となるなど、より魅力的な施設となる。				
課 題	・ 必要とする施設機能の整理 ・ 関係所管及び団体との協議・調整				

民間委託等ロードマップ【第3期】

対象業務等	環境クリーンセンターの現業業務		部・課かい名	環境都市部 環境クリーンセンター
現 状	センター職員数全58名のうち、技能労務に関わる職員は44名（平成31年4月現在）。 収集係は13名（常勤8名（内、監督員2名）、再任用フル1名、再任用短時間1名、任期付3名）。「燃やすごみ」及び「容プラ」のSTA収集の直営率は50.98%。粗大ごみの戸別収集及びふれあい収集は全て直営収集。他に事務所直轄の指導啓発担当員1名配置。 処理係は31名（事務所付：5名（常勤4名（監督員）＋再任用フル1名）、焼却班：常勤15名（5名/班×3班、2交代/日）、破碎班：常勤3名（内、監督員1名）、資源化班：4名（常勤1名、再任用短時間1名、非常勤2名）、ビット班：再任用短時間3名、非常勤1名）。 処理業務で委託化しているのは、容プラ選別処理及びペットボトル選別処理業務。 労務管理費として、給料表(1)職員6名の他、非常勤職員8名（事務所4名（電話受付3名・STA担当1名）、計量4名）を含む。 退職者不補充の原則により、技能労務職員退職後はセンター内異動及び任期付職員等の補充により対応していたが、直営による最低稼働人員の維持確保が限界に達しつつある。特に収集業務は、運転員の減員による配車への影響が生じ始めつつある状況。			
手 法	☒ 民間委託 ☐ 指定管理 ☐ 民営化			
行 程	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	・収集係13名（常勤8名、再任用フル1名、再任用（週4）1名、任期付3名） ・処理係31名（常勤23人、再任用フル1名、再任用（週4）3名、再任用（週3）1名、非常勤3名含） ・配置変更（学校用務へ）2名（4月） ・所内異動（収集係→処理係）3名（4月） ・収集業務「燃やすごみ」と「容プラ」委託区域拡大（4月） ・資源物及び小型家電回収業務委託化（4月） ・収集委託区域拡大検討及び直営収集車両台数の適正管理	・収集係13名（常勤9名、再任用フル1名、任期付3名） ・処理係30名（常勤21名、再任用フル2名、再任用（週4）3名、再任用（週3）1名、会計年度任用3名） ・収集業務「燃やすごみ」と「容プラ」委託区域維持（4月） ・資源物及び小型家電回収業務（資源循環課へ移管）（4月） ・収集委託区域拡大検討及び直営収集車両台数の適正管理	・収集係13名（常勤9名、再任用（週4）1名、任期付3名） ・処理係30名（常勤21名、再任用（週4）3名、会計年度任用6名） ・収集業務「燃やすごみ」と「容プラ」委託区域維持（4月） ・収集委託区域拡大検討及び直営収集車両台数の適正管理	・収集係13名（常勤8名、再任用フル1名、再任用（週4）1名、任期付3名） ・処理係31名（常勤19名、再任用（週4）2名、会計年度任用10名） ・収集業務「燃やすごみ」と「容プラ」委託区域維持（4月） ・収集委託区域拡大検討及び直営収集車両台数の適正管理

コスト比較	(A) 現状（人件費等）				(B) 委託・指定管理（委託料等）＊概算見積等	
	人件費計		316,254千円	その他経費		20,053千円
	給料表（１）	0人	0千円	＊労務管理（事務管理職員14名（常勤6名・非常勤8名（事務所・計量）） 労務管理費：20,053千円（時間外手当等全て含む）		
	給料表（２）	31人	274,040千円	【参考】 退職手当相当額：@17,700千円×31名＝548,700千円		
	再任用 週5日	2人	9,442千円			
	再任用 週4日	4人	14,112千円			
	再任用 週3日	1人	2,681千円			
	再任用 週2日	0人	0千円			
	任期付 週4日	3人	9,948千円			
	任期付 週3日	0人	0千円			
(B)－(A) —（算定不能）	会計年度任用 週4日	1人	2,389千円			
	会計年度任用 週3日	2人	3,642千円			
	会計年度任用 週2日	0人	0千円			
		44人	315,291千円			
(B)－(C) —（算定不能）	(A) 計			336,307千円		
(C) 仮想人件費（勤務時間換算）						
	人件費計	364,208千円		(C) 計	384,261千円	
	給料表（１）	0.0人	0千円	給料表（２）	41.2人 364,208千円	
	その他経費	20,053千円				
	＊労務管理（事務管理職員14名（常勤6名・会計年度任用8名（事務所・計量）） 労務管理費：20,053千円（時間外手当等全て含む） 【参考】 退職手当相当額：@17,700千円×31名＝548,700千円					
中長期的に見た 効率、効果等						
課 題						
・令和6年度中に新たに生ごみを分別収集し、葉山町に整備予定の生ごみ資源化施設において資源化する予定である。現時点では、収集回数等が決まっていないが、現在の委託業務も大幅に変更予定のため、第3期の期間中における収集業務の委託区域拡大は困難なため、次期ロードマップ期間も含めた中での委託拡大に向け、継続的検討を進める。 ・民間事業者における収集職員の人材不足や労務単価アップ及び民間収集車両の減価償却コスト増により、今後も委託料増額が見込まれる。 ・粗大ごみ戸別収集及び高齢者等のふれあい収集は当分の間直営とするが、職員の退職年次を見据えながらの対応の検討が必要である。						

民間委託等ロードマップ【第3期】

対象業務等	小学校給食調理業務		部・課かい名	教育部学校教育課
現 状	逗子小学校においては、令和3年9月より、民間委託に移行。 学校単位で順次、給食調理業務の民間委託を進めていくに当たり、「逗子市小学校給食調理業務委託化方針」を策定（委託化スケジュール案を策定）した。（全校の委託化の方針について、市職労協議、合意予定） 令和3年4月1日時点の人件費（5校直営時）を固定人件費として、今後、委託化が進んでいくにあたっての比較を行っていく。			
手 法	☒ 民間委託 ☐ 指定管理 ☐ 民営化			
行 程	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	民間委託の検討 ・現状の人件費と業務委託料の比較 ・委託実施に際してのスケジュールの検討 ・学校との情報共有 ・市職労との協議	業務委託に向けた準備 ・保護者への説明 ・業務委託仕様書等の作成	業者選考等 ・1校目での業務委託の開始 ・2校目での業務委託の検討・準備 ・「逗子市小学校給食調理業務委託化方針」を策定（委託化スケジュール案を策定） ・学校との情報共有 ・全校委託化の方針について市職労との合意予定	・1校目での業務委託継続 ・令和5年度4月からの2校目での業務委託の開始に向けた準備 ・学校との情報共有 ・保護者への説明 ・業務委託仕様書等の作成

コスト比較	(A) 現状（人件費等）				(B) 委託・指定管理（委託料等）＊概算見積等		
	人件費計		103,518千円 <th colspan="2">その他経費</th> <th>(B) 計 86,606千円</th>	その他経費		(B) 計 86,606千円	
	給料表（１）	0人	0千円	※人件費 計 市内５小学校の、令和3年4月1日現在における給食調理に係る人員配置での年間人件費 103,518千円		①令和３年度逗子小学校調理委託の金額(16,000,600円) ÷実稼働日数(124日) ÷１日あたりの調理食数(835食)＝154円（一食当たり単価）	
	給料表（２）	4人	35,360千円				
	再任用 週５日	2人	9,442千円				
	再任用 週４日	1人	3,528千円				
	再任用 週３日	2人	5,362千円				
	再任用 週２日	0人	0千円				
	任期付 週４日		9人	29,844千円	＊このほか、市教委、学校での人事管理に係る人件費を要する。		②154円（一食当たり単価）×2,035食（逗子小を除く、全４校の１日あたり給食提供食数）×195日（年間給食提供186日+開始準備3日+点検清掃6日）＝61,111千円(千円未満切捨て) →仮に逗子小単価で他４校分の委託をした際の委託料
	任期付 週３日		0人	0千円			
	会計年度任用 週４日		8.00人	19,112千円			
会計年度任用 週３日		0.00人	0千円				
会計年度任用 週２日		1人	870千円				
任期付職員 週５日		0人	0千円				
(B)－(A)		(A) 計 103,518千円				③逗子小学校調理委託にかかる、令和4年度（通年）の予算額 25,495千円	
△16,912千円		(C) 仮想人件費（勤務時間換算）					
人件費計		194,480千円	(C) 計 194,480千円		②+③＝86,606千円 （全5校分の委託料）		
給料表（１） 0.0人		0千円	給料表（２） 22.0人 194,480千円				
その他経費		0千円					
＊このほか、市教委、学校での人事管理に係る人件費を要する。							
中長期的に見た 効率、効果等	＊給食調理員を、全て常勤職員換算した場合の経済効果は大きいですが、令和4年3月末現在の、全給食調理員に占める常勤職員の割合は小さく（4人/全25人中）、実態の額において経済効果に反映されていない。全５校の委託化が完了した時点で、直営に比して大きな経済効果が期待できる。						
課 題							

民間委託等ロードマップ【第3期】

対象業務等	公立保育園 調理業務		部・課かい名	教育部保育課
現 状	・ 令和3年4月から湘南保育園の給食調理委託開始。 ・ 小坪保育園については、自園調理。 ・ 小坪保育園は、近年中に定年等の理由により給食調理員（正規職員）を必要数配置することが困難となることから、給食調理業務委託を検討している。			
手 法	☒ 民間委託 ☐ 指定管理 ☐ 民営化			
行 程	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	・ 実施手法の検討	・ 湘南保育園の事業引継ぎのための予算化 ・ 保護者へのお知らせ ・ 競争入札 ・ 事業者選定・事業の引継ぎ	・ 湘南保育園の委託化開始 ・ 小坪保育園委託化の時期検討	・ 湘南保育園の委託 ・ 小坪保育園委託化準備

コスト比較	(A) 現状（人件費等）				(B) 委託・指定管理（委託料等）＊概算見積等	
	人件費計		21,322千円 <th colspan="2">その他経費</th> <td>828千円</td>	その他経費		828千円
	給料表（１）	0人	0千円	・臨時職員（R3予算）	696千円	◇湘南保育園給食調理業務委託料 14,791千円 （株式会社サンユー）
	給料表（２）	2人	17,680千円	・消耗品等（R3予算）	132千円	
	再任用 週５日	0人	0千円			
	再任用 週４日	0人	0千円	【参考】退職手当相当額		
	再任用 週３日	0人	0千円	給食調理員		
	再任用 週２日	0人	0千円	15,900千円×２名＝31,800千円		
	任期付 週４日	0人	0千円			
	任期付 週３日	0人	0千円			
会計年度任用 週４日	0人	0千円				
会計年度任用 週３日	2人	3,642千円				
会計年度任用 週２日	0人	0千円				
任期付 週５日	0人	0千円				
(B)－(A) △7,359千円						
(B)－(C) △14,325千円						
(A) 計	22,150千円					
(C) 仮想人件費（勤務時間換算）						
人件費計	28,288千円		(C) 計	29,116千円		
給料表（１）	0.0人	0千円	給料表（２）	3.2人	28,288千円	
その他経費	828千円					
・臨時職員（R3予算） 696千円						
・消耗品等（R3予算） 132千円						
【参考】退職手当相当額						
給食調理員 15,900千円×２名＝31,800千円						
中長期的に見た 効率、効果等	現業職員の退職者不補充により、近年中に小坪保育園の委託化を行う必要がある。 職員1名が令和4年度末、令和30年度末にて定年退職予定。					
課 題	・残った職員の処遇について。 ・公立保育園１園民営化との兼ね合い。					

民間委託等ロードマップ【第3期】

対象業務等	公立保育園 民営化		部・課かい名	教育部保育課
現 状	・ 湘南保育園 園児定員90名（弾力的運用により105名+緊急枠5名） 職員定員 正規職員…園長1名 保育士10名 用務員（再任用・週3日）1名 会計年度任用職員…保育士（週4日）11名、事務職員（週4日）1名、用務員（週3日）1名 ・ 小坪保育園 園児定員90名（弾力的運用により105名+緊急枠5名） 職員定員 正規職員…園長1名 保育士10名 給食調理員 2名 会計年度任用職員…保育士（週4日）11名、事務職員（週4日）1名、給食調理員（週3日）2名 用務員（週3日）2名			
手 法	☐ 民間委託 ☐ 指定管理 ☒ 民営化			
行 程	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			・ 1 園民営化の検討開始。	・ 民営化手法の検討。

コスト比較	(A) 現状 (人件費等)				(B) 委託・指定管理 (委託料等) * 概算見積等	
	人件費計		135,931千円	その他経費		
	給料表 (1)	11人	88,330千円			
	給料表 (2)	2人	17,680千円			
	再任用 週5日	0人	0千円			
	再任用 週4日	0人	0千円			
	再任用 週3日	0人	0千円			
	再任用 週2日	0人	0千円			
(B) - (A) △106,321千円	任期付 週4日	0人	0千円			
	任期付 週3日	0人	0千円			
	会計年度任用 週4日	11人	26,279千円			
	会計年度任用 週3日	2人	3,642千円			
	会計年度任用 週2日	0人	0千円			
	任期付 週5日	0人	0千円			
(B) - (C) △175,448千円				(A) 計	135,931千円	
	(C) 仮想人件費 (勤務時間換算)					
	人件費計		187,282千円	(C) 計	205,058千円	
	給料表 (1)	19.8人	158,994千円	給料表 (2)	3.2人 28,288千円	
	その他経費		17,776千円			
	保育園運営事業費 (1園)		16,877千円			
	保育園維持管理事業 (1園)		899千円			
中長期的に見た 効率、効果等	公立保育園の運営は全額市費負担であるが、民営化することにより、国から運営費の補助があるため、市の負担が大きく減少する。					
課 題	園舎の老朽化を含む、施設整備。					